

# 平成30年度 事業報告

自 平成30年4月 1日

至 平成31年3月31日

平成最後の年として、平成の時代を振り返ると、報道等に言われる様に災害の多い時代であったのではないかと存じます。

我々瓦工事業界も、地震・豪雨・台風等の災害被害に遭われた方々の対応に苦慮し、又、住宅着工件数が60万戸台と低迷している状況で、屋根材も瓦から他の屋根材に移行している事も否めず危機感を感じた一年間でした。

このような状況下で、我々全瓦連と致しましては変化する社会情勢に応じ、四委員会中心に事業活動を進めて参りました。

## 指導委員会

### 1) 「陳情書のあらし」の有効活用

13の県と多くの青年部が陳情活動を行った

### 2) コンプライアンスセミナーの開催(四会場)

平成30年10月15日 関東ブロック 東京 141名受講

平成30年12月12日 東北ブロック 宮城 51名受講

平成31年2月13日 九州ブロック 福岡 90名受講

平成31年3月15日 関西ブロック 大阪 115名受講

(合計400名)

## 技術委員会

- 1) 技術委員会内でウォールスタット導入部分と活用の仕方の講習を行った。
- 2) 施工要領書JKY2014の改訂について検討を行ったが、改訂時期については、JASSI2の改訂後の新情報を反映させるので改訂を急がないことになった。
- 3) CAD等の作図(原寸図)の知識・技術の習得方法について検討を行った。

## 安全対策委員会

- 1) 「ヒヤリハットから学ぶ安全対策」冊子の活用推進については、改訂版を作成・配布しました。
- 2) 全瓦連保険制度の拡充と加入促進活動の推進については、熱中症・紫外線防止対策として注意喚起を行いました。  
葺替え時の雨漏れ事故防止として注意喚起しました。
- 3) 全瓦連・安全カレンダーの作成(継続事業)

## PR 委員会

- 1) 全瓦連の社会的・対外的広報活動の推進については、PR グッズ・リーフレット等のリニューアルを行いました。並びに「日本人なら瓦屋根」の内容改訂の審議を継続中です。
- 2) 瓦屋根及び加盟店事業所の優位性の社会的広報活動については、「ガイドライン工法」から「瓦ガイドライン工法」と名称を分かりやすくしていく事に決定しました。
- 3) ユネスコ無形文化遺産登録に向けて、他団体と連携し活動推進しました。